

「IT導入補助金2023」の概要について

令和5年11月22日

四国経済産業局

地域経済部 製造産業・情報政策課

- 1. IT導入補助金2023の概要**
- 2. 活用事例**
- 3. 採択状況・公募スケジュール**
- 4. 参考・お問合せ先**

1. IT導入補助金2023の概要

2. 活用事例

3. 採択状況・公募スケジュール

4. 参考・お問合せ先

1. IT導入補助金2023の概要

- **IT導入補助金は、中小企業等の労働生産性の向上**を目的として、業務効率化やDX等に向けた**ITツール**（ソフトウェア、サービス等）の導入を支援する補助金

■補助事業者（＝申請の対象となる事業者）

中小企業・小規模事業者等（飲食、宿泊、小売・卸、運輸、医療、介護、保育等のサービス業の他、製造業や建設業も対象）

<中小企業の定義>

業種分類	資本金	従業員	
	資本の額又は出資の総額	常勤	
右記以下の場合対象（個人事業を含む） 資本金・従業員規模の一方が、	製造業、建設業、運輸業	3億円	300人
	卸売業	1億円	100人
	サービス業（※1）	5千万円	100人
	小売業	5千万円	50人
	ゴム製品製造業（※2）	3億円	900人
	ソフトウェア業又は情報処理サービス業	3億円	300人
	旅館業	5千万円	200人
	その他の業種	3億円	300人

<小規模事業者の定義>

業種分類	従業員
	常勤
商業・サービス業 （宿泊業・娯楽業除く）	5人以下
サービス業のうち 宿泊業・娯楽業	20人以下
製造業その他	20人以下

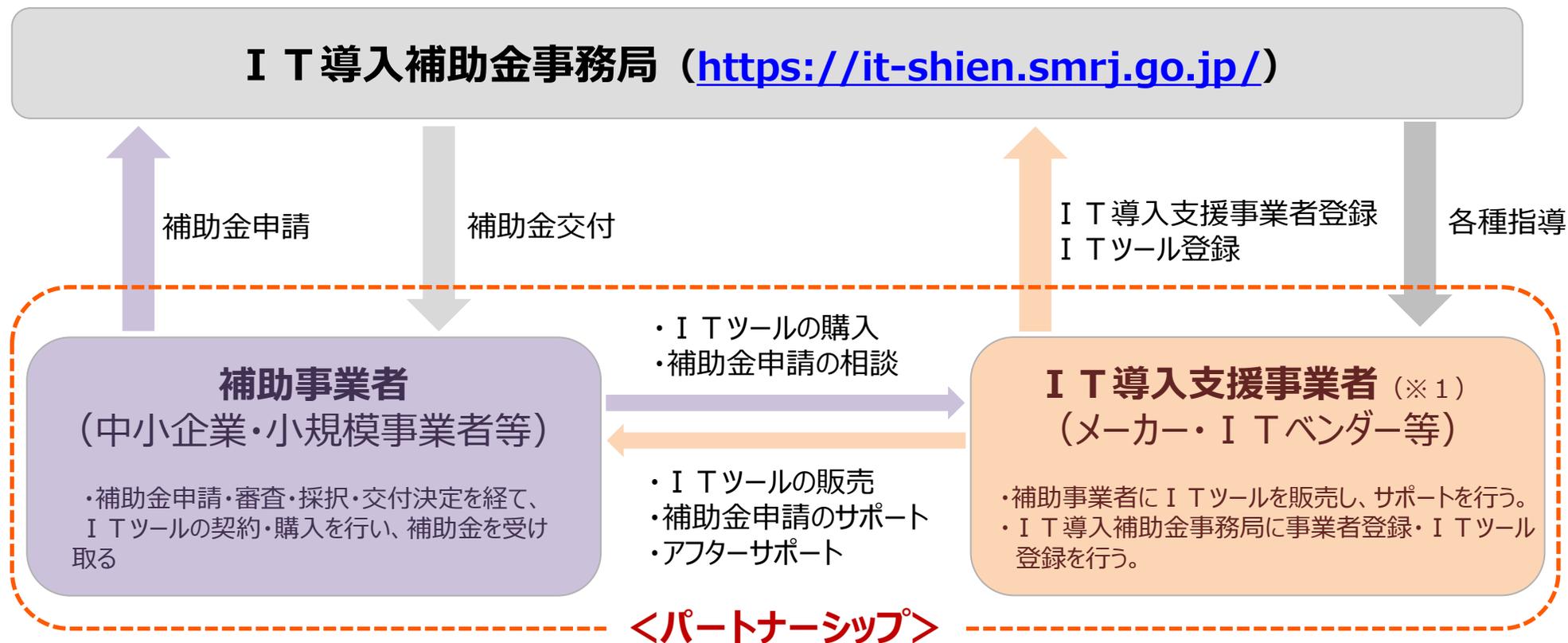
※1 ソフトウェア業又は情報処理サービス業、旅館業を除く。

※2 自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く。

1. IT導入補助金2023の概要（申請の流れ）

- 補助金申請者（中小企業・小規模事業者等）は、IT導入補助金事務局に登録された「IT導入支援事業者」とパートナーシップを組んで申請することが必要

■ 補助金スキーム



(※1) 補助事業者と共に事業を実施するパートナーとして、補助事業者にITツールの説明、導入、運用方法の相談等や補助金の交付申請や実績報告書等の事務局に提出する各種申請・手続きのサポートを実施。

1. IT導入補助金2023の概要

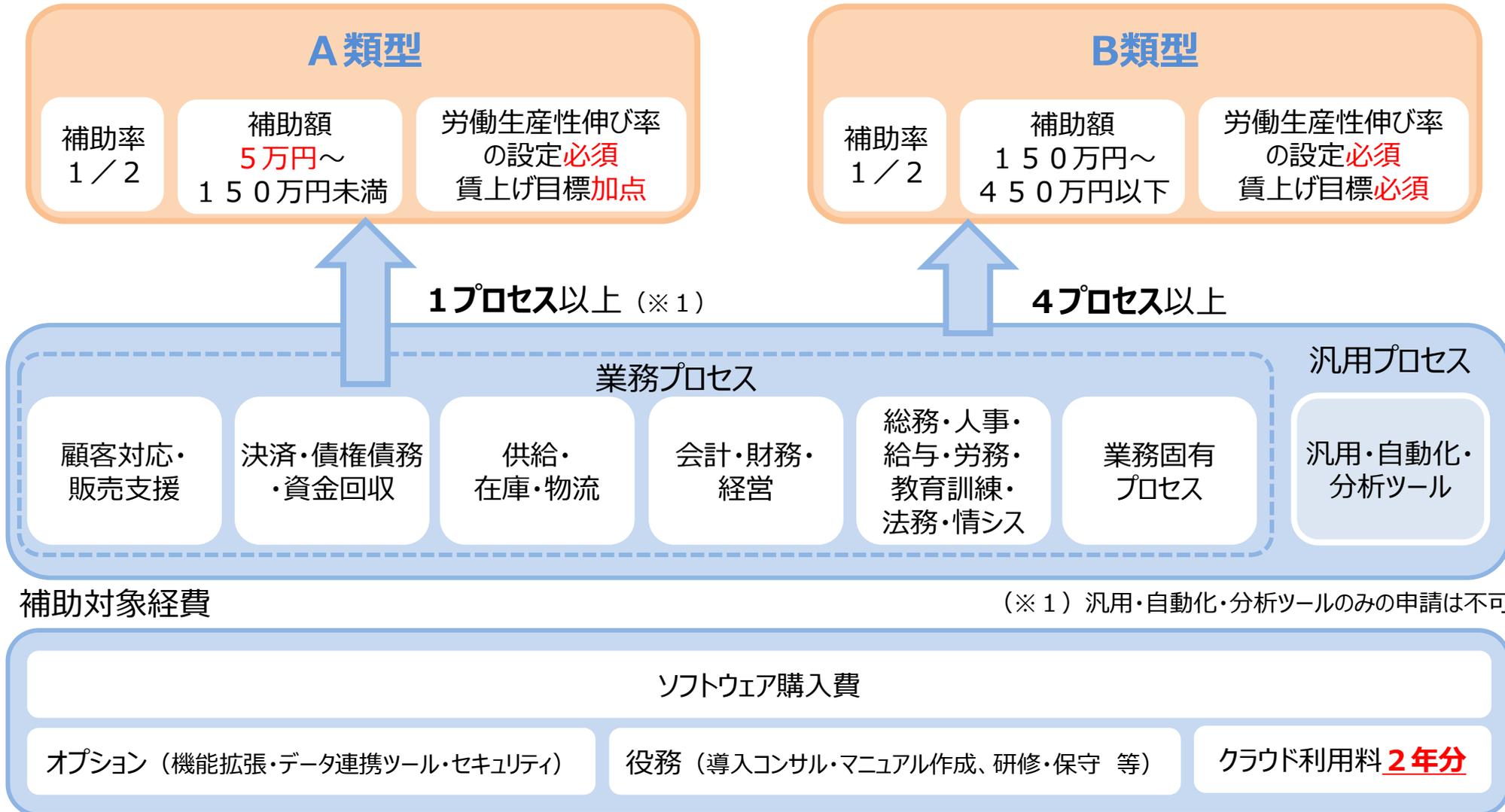
- 「通常枠」、「デジタル化基盤導入枠」、「セキュリティ対策推進枠」の3枠を同時申請することも可能。

枠・類型名	通常枠		デジタル化基盤導入枠 (※)		セキュリティ対策推進枠
	A類型	B類型	デジタル化基盤導入類型		
補助額	5万円～ 150万円未満	150万円～ 450万円以下	(下限なし)～ 50万円以下	50万円超～ 350万円	5万円～100万円
補助率	1/2以内		3/4以内	2/3以内	1/2以内
機能要件・プロセス数	1プロセス以上	4プロセス以上	1機能以上	2機能以上	(独)情報処理推進機構が公表する「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されているいずれかのサービス
補助対象ツール	労働生産性の向上に資するITツール		会計・受発注・決済・ECの各ソフト		
補助対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料 (最大2年分)、導入関連費		ソフトウェア購入費、 クラウド利用料(最大2年分)、 導入関連費、ハードウェア購入費		サービス利用料 (最大2年分)
労働生産性の伸び率の設定	【必須】 「1年後→3%以上」及び「3年後→9%以上」 の生産性向上を目標とした計画を作成		【不要】		【必要】 「3年後→3%以上」の 数値目標を作成
賃上げ目標	加点	必須	加点		加点

(※) デジタル化基盤導入枠には複数の事業者が共同で申請する『複数者連携IT導入類型』もあります。

(1) 「通常枠 (A・B類型)」の概要

- 業務効率化やDXに向けて行うITツールの導入を支援。



(2) 「デジタル化基盤導入類型」の概要

- 2023年10月開始のインボイス制度への対応も見据え、企業間取引のデジタル化を強かに推進。

デジタル化基盤導入類型

補助額 及び 補助率
(下限なし) ~ 50万円以下 【補助率】 3 / 4
50万円超 ~ 350万円 【補助率】 2 / 3

賃上げ目標の設定
加点



【ハードウェア】

PC・タブレット・プリンター・スキャナー・複合機 ~ 10万円 | POSレジ・券売機等 ~ 20万円 【補助率】いずれも 1 / 2

補助対象のITツール (ソフトウェア)

(※) 下記4機能のうち、1機能導入の場合は上限50万円、
2機能以上の場合には上限350万円

会計

受発注

決済

EC

補助対象経費

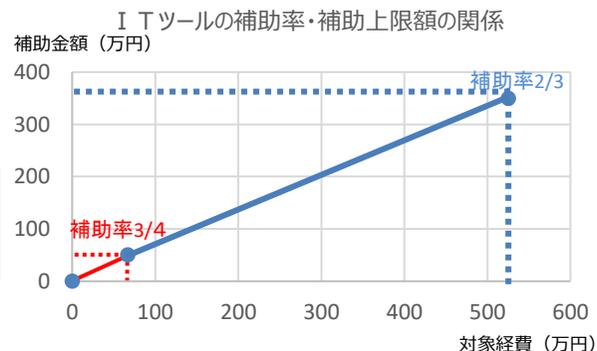
ソフトウェア (会計・受発注・決済・EC)

ハードウェア (PC・タブレット、レジ・券売機等)

オプション (機能拡張・データ連携ツール・セキュリティ)

役務 (導入コンサル・マニュアル作成、研修・保守 等)

クラウド利用料 **2年分**

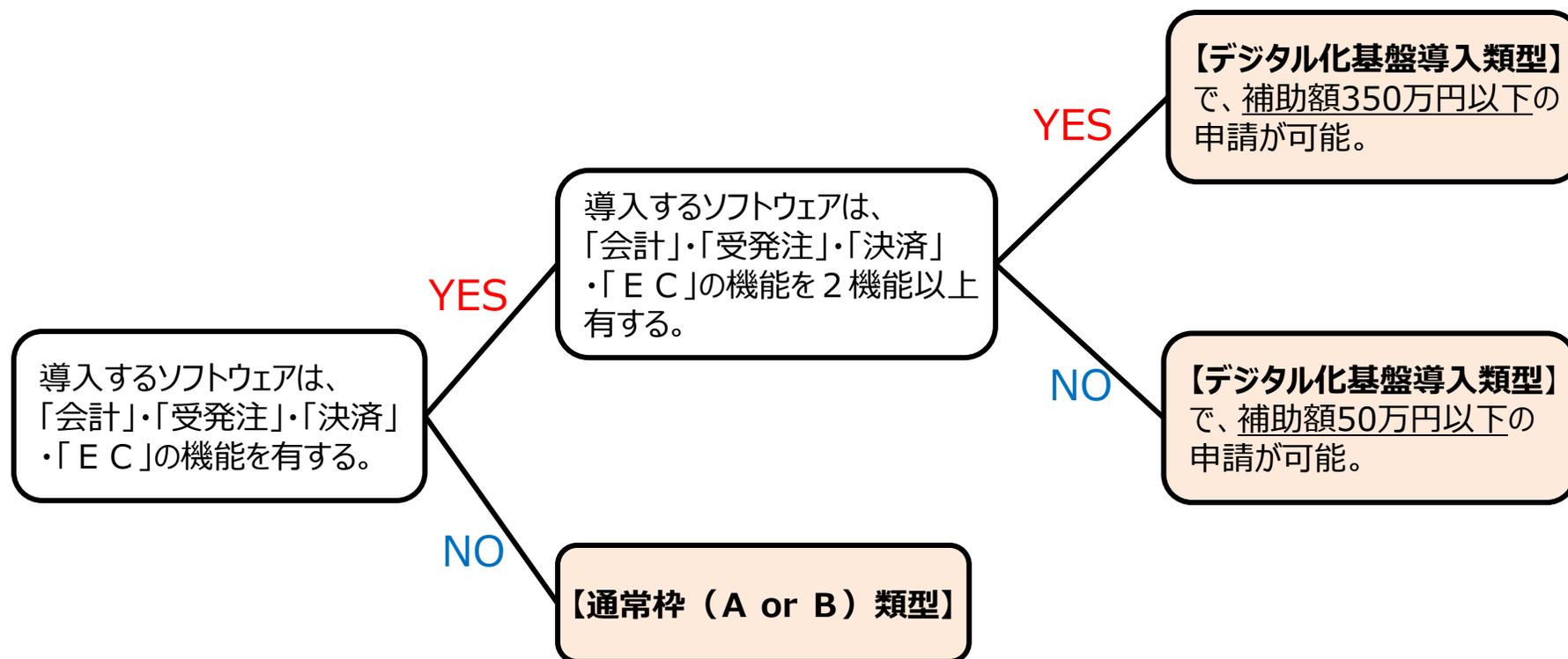


(例) 補助対象経費100万円の場合

- 補助額0~50万円以下部分
補助額500,000円の補助率は3/4のため補助対象経費は666,667円となります。
- 補助額50万円超~350万円部分
残りの補助対象経費333,333円は補助率2/3のため補助額は222,222円となります。
- 最終的な補助額
申請可能な補助額の合計は、722,222円となります。

【参考】 類型別チャート

- 導入する I T ツールと機能から、申請可能な「類型」を確認してください。



※「会計」・「受発注」・「決済」の機能を有するソフトウェアであっても、通常枠（A or B）類型に申請することは可能ですが補助率は1 / 2となります。

(3) セキュリティ対策推進枠の概要

- サイバー攻撃事案の潜在リスクが高まっていることを踏まえ、中小企業等のサイバーセキュリティ対策強化を支援。

補助率
1 / 2

補助額
5万円～100万円未満

補助対象経費
「サイバーセキュリティお助け隊サービス」の
サービス利用料**最大2年分**

労働生産性伸び率
の設定**必須**
賃上げ目標**加点**

サイバーセキュリティお助け隊サービス

○中小企業のサイバーセキュリティ対策を支援するための相談窓口、異常の監視、事案発生時の初動対応（駆付け支援等）及び簡易サイバー保険を含む各種サービス（**見守り、駆付け、保険**）を、安価かつ効果的な**ワンパッケージ**で、**確実に提供するもの**。
(2023年10月時点で22サービス)



(独)情報処理推進機構(IPA)

「サイバーセキュリティお助け隊サービス」HP



OTASUKETAI

手遅れになるまえに、
手を打つ。

サイバーセキュリティ
お助け隊

サイバーセキュリティ問題、起こる前に考えよう！

見守り (異常の監視) 24時間365日監視 挙動や問題のある攻撃を 検知しあなたのPCと ネットワークを守ります。	駆付け 問題が発生したときに、 地域のIT事業者等が 駆付け対応します。 (リモート支援の場合あり)	保険 簡易サイバー保険で、 駆付け支援等インシデント 対応時に突発的に発生する 各種コストが補償されます。
--	---	--

ワンパッケージで安価に！

1. IT導入補助金2023の概要

2. 活用事例

3. 採択状況・公募スケジュール

4. 参考・お問合せ先

教育・学習支援業

株式会社ITコンシェルジュサービス

⑥総務・人事・給与・労務・
教育訓練・テレワーク基盤

【申請類型】

IT導入補助金2020 特別枠（c類型-2）

【事業者情報】

所在地：東京都新宿区 設立：2016年 従業員数：1名

URL：<https://www.itconciierge-service.co.jp>

- ・企業のITサポート役となる「ITコンシェルジュ」の育成を手掛ける
- ・コロナ禍を機に、非対面型のアドバイザーサービスを開始
- ・社内の情報システム構築やヘルプデスクにも対応



抱えていた経営課題



- 法人化して4年が経過し、社員の新規雇用や社内のITインフラ整備の必要性が高まっていた。
- 生産性の高い職場づくりを進め、社長自身も計画的に休暇を取得できるようにしたかった。
- コロナ禍により、現地での研修・セミナー開催ニーズが低下していた。

IT導入支援事業者の“伴走”支援で
迅速にITツール導入を実現

- 本業の時間を確保するため、補助金を活用することとし、IT導入支援事業者をサポートを依頼。
- 導入したITツール（Sharepoint）によって、膨大な過去のデータを社内で一元管理できるようになった。また、Teamsを活用し、全国を対象にオンライン形式でのセミナーや商談の開催が可能となった。

導入したITツール

オフィスあんしん365

(マイクロソフトが提供する「Office 365」をベースとしたツール)

<https://www.fujifilm.com/fb/solution/oos>

IT導入支援事業者

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
(旧 富士ゼロックス株式会社)

成果

作業効率30%アップ！
オンライン化により商圏拡大！

- 社長が週に1日「計画的」に休暇を取得できるようになった。IT技術を学ぶ時間も確保できた。
- これまで関東近県に限られていた商圏を拡大することができた。
- 発注側になることで、自社が提供しているサービスを見直す良い機会となった。

【申請類型】

IT導入補助金2021 通常枠（A類型）

【事業者情報】

住所：神奈川県大和市下鶴間2丁目12番33-707号

設立：2015年 従業員数：3名 売上高：約27百万円

URL：<http://ksystem.kanagawa.jp/>

・廃棄物の「見える化」と廃棄物データ活用を通じたSDGs経営の普及促進を目指しています。志と情熱を持って仕事に取り組み、いつまでも夢を追い続け、挑戦し続ける企業でありたいと思っています。



抱えていた経営課題



- SDGs経営向けのシステム開発・販売を手掛ける一方、廃棄物を収集する受託業務も手掛けるようになり、
 - ・煩雑で効率が低いこと
 - ・ペーパーレス化できていないことが課題でした。
- システムがオンプレミス型に加え、紙ベースの管理のためテレワークができない状況で事業継続の面でも喫緊の課題になっていました。

運転日報管理のクラウド導入で 業務を飛躍的に効率化した。

- IT支援業者は従来からお取引のある会社で、入力画面の操作性や機能が業務にマッチしていたこと、そして環境系のクラウドシステム開発に特化しているという点も決め手となり、自社開発ではなく導入することを決めました。
- 当社のオペレーションに合わせて設定したり、マスターデータを事前登録する作業は2カ月ほどかかりとても大変でしたが、その後実際に移行する際にはとてもスムーズにスタートすることができました。

導入したITツール
『ルート配車システム』

<https://waste-cloud.com/>

IT導入支援事業者

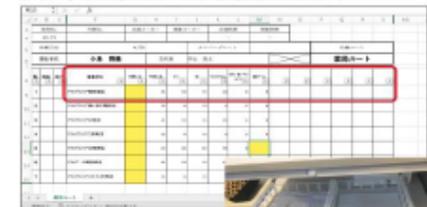
ウエスト・クラウド・ジャパン 株式会社

成果

作業時間は9時間から1/3に圧縮
ペーパーレス化にも成功！

After

1行で13種類のゴミを登録可能に！



紙の使用量が1/2に！

- 1画面に1種類の廃棄物登録を12種類の廃棄物の収集量を登録できるようになり、飛躍的に作業効率が上がり、ペーパーレス化も実現。
- 効率化によって生まれた時間を他の作業に費やせる好循環が生まれ、今期売上1.7倍を実現。

ITツールの導入／活用事例（28補正・サービス等生産性向上IT導入支援事業）

学習業

- ・バレイ教室と学習塾を併設。予約管理や生徒の出欠をITツールで管理。
- ・業務効率化により、授業やレッスン内容の充実化や保護者との連絡が円滑化する等、サービス向上に寄与。

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、顧客管理、人事シフト、原価管理・業務管理



建設業

- ・3次元パース（画像）での施主へのわかりやすい提案や顧客情報管理によるサービスの向上を実現。
- ・企画設計についても、これまでの業務比10%以上の効率化を図ることが可能に。

導入したITツール

- ・主な機能：販売・店頭、顧客管理



製造業

- ・2日要していた給与計算と管理帳票の作成が数時間程度の作業となり、大幅な業務効率化。
- ・残業時間の即時把握が可能となり、残業時間削減の意識向上に寄与。

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、人事シフト、原価管理・業務管理、給与



通信業

- ・クラウドで即時に業績を可能に。月次の経営管理資料作成日数を5日間削減。
- ・各種精算データを会計システムに入力する作業が2時間から0に。今後社員が増加しても作業量は増加しない見込み。

導入したITツール

- ・主な機能：受発注、原価管理・業務管理、財務・会計管理

清掃業

- ・売上計上漏れの防止や請求回収漏れの防止、事務と営業の情報共有の円滑化による作業時間の短縮を実現。
- ・事業計画作成を通じ、経営課題を発見。生産性向上に係る社員の意識改革にも寄与。

導入したITツール

- ・主な機能：顧客管理、受発注、原価管理・業務管理



士業

- ・顧客情報の一元管理、システム間の円滑なデータ連携により、データの関連の業務が効率化。
- ・税務届出書類の確認、作成、提出が電子化され、業務効率化を実現。

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、販売・店頭、決済顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



飲食業

- ・原価率の見える化を通じて、仕入れ価格の削減に努める等、経営の体質改善を実現。
- ・Excelで管理していた給与計算を効率化（手書きまで半日→1時間）

導入したITツール

- ・主な機能：決済、顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理、給与

宿泊業

- ・手書きの予約台帳をスタッフ全員に配っていたが、予約、会計管理、顧客情報等の情報をタブレットでスタッフ間において共有するITツールを導入。
- ・導入後3年間で売上35%増を実現。

導入したITツール

- ・主な機能：予約、顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



医療業

- ・予約、顧客/財務管理の一括管理、自動入力による効率化を実現（1患者当たり1分削減）。
- ・入力ミス解消により、訂正に係る作業時間を削減（1件10分程度）。

導入したITツール

- ・主な機能：予約、顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



介護業

- ・転記等の2重作業が解消し、請求業務に係る時間が1割に。
- ・作業時間短縮により、新規事業へ注力する余裕が生じるとともに、顧客訪問前の職員とヘルパーとの情報共有も充実。

導入したITツール

- ・主な機能：顧客管理、原価管理・業務管理、財務・会計管理



保育業

- ・帳票の作成、確認時間短縮（園長60分/月、保育士1名130分/月の削減）。
- ・登降園、出退勤の集計作業時間の短縮（園長120分/月、保育士1名75分の削減）

導入したITツール

- ・主な機能：コミュニケーション、顧客管理、人事シフト、原価管理・業務管理



小売・卸

- ・人事管理と会計・給与計算のシステムを導入し、システム連携させることにより、業務時間短縮を実現（約10時間/月）。
- ・今後は人事管理システムも本格稼働させ、さらなるIT化を図る。

導入したITツール

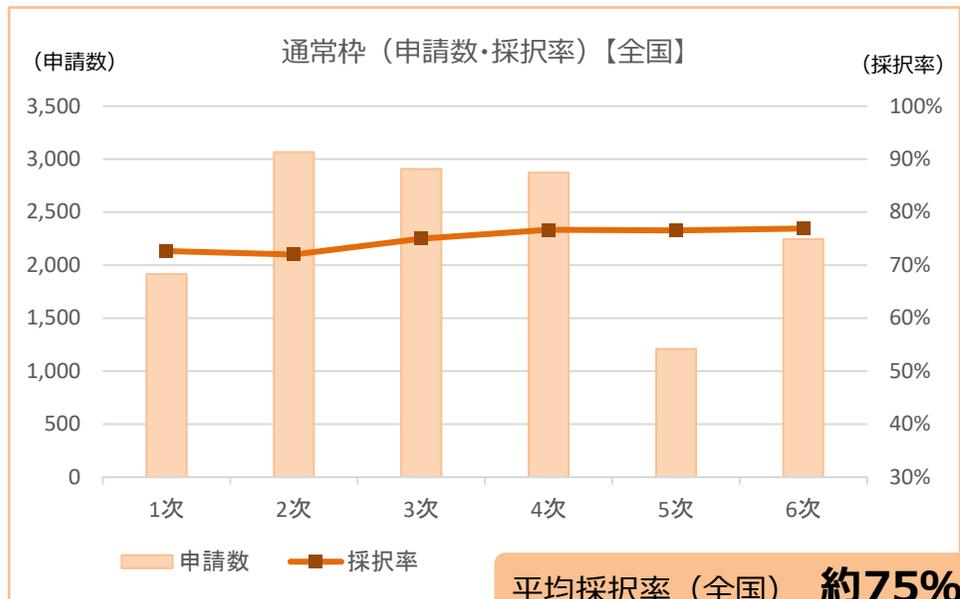
- ・主な機能：業務管理、財務・会計管理



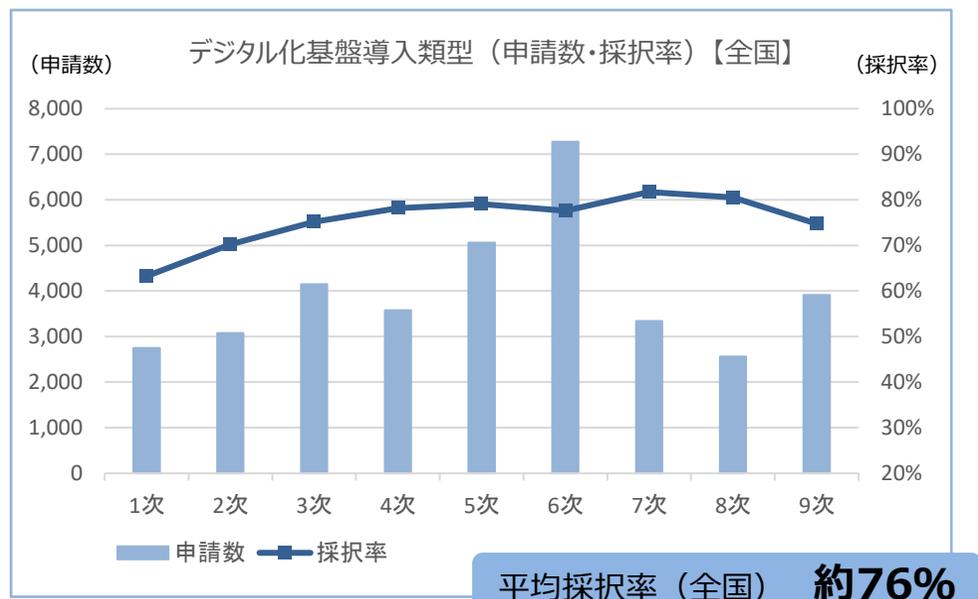
1. IT導入補助金2023の概要
2. 活用事例
- 3. 採択状況・公募スケジュール**
4. 参考・お問合せ先

3. 採択状況・公募スケジュール

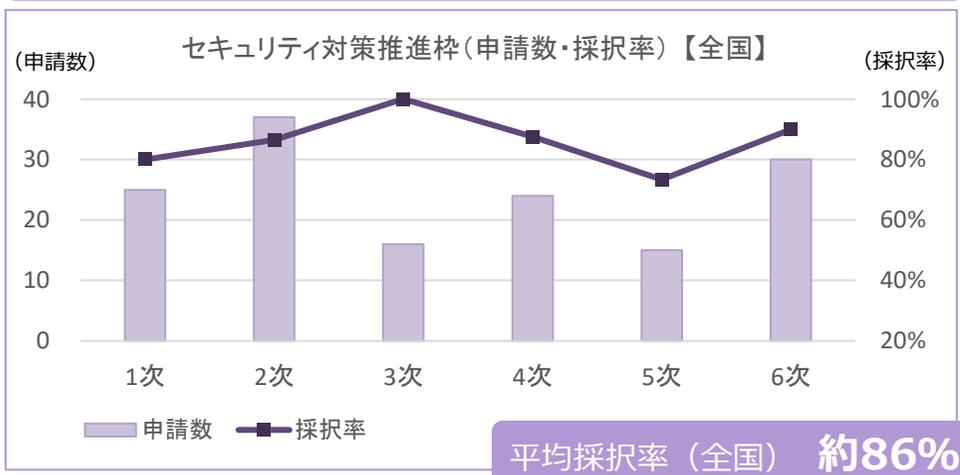
通常枠（A・B類型）



デジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）



セキュリティ対策推進枠



デジタル化基盤導入枠（複数社連携IT導入類型）

締切り	申請数	採択数	採択率
1次	2	1	50%
2次	3	3	100%

3. 採択状況・公募スケジュール

● 補助金申請スケジュール

通常枠（A・B 類型）

第8次締切り	11月27日（月）17:00
第9次締切り	12月25日（月）17:00
第10次締切り	令和6年1月29日（月）17:00

デジタル化基盤導入枠 （デジタル化基盤導入類型）

第12次締切り	11月13日（月）17:00
第13次締切り	11月27日（月）17:00
第14次締切り	12月11日（月）17:00
第15次締切り	12月25日（月）17:00

セキュリティ対策推進枠

第7次締切り	10月30日（月）17:00
第8次締切り	11月27日（月）17:00
第9次締切り	12月25日（月）17:00
第10次締切り	令和6年1月29日（月）17:00

デジタル化基盤導入枠（複数社導入類型）

第3次締切り	10月2日（月）17:00
第4次締切り	11月27日（月）17:00
第5次締切り	令和6年1月29日（月）17:00

IT導入補助金コールセンター



0570-666-376

IP電話等からの
お問い合わせ先

050-3133-3272

IT導入補助金ホームページ

<https://it-shien.smrj.go.jp/>



1. IT導入補助金2023の概要
2. 活用事例
3. 採択状況・公募スケジュール
4. **参考・お問合せ先**

4. 参考・お問合せ先

- 本説明に関するお問い合わせ先

四国経済産業局 製造産業・情報政策課

電話 **087-811-8518**

メール bzl-sik-infomation@meti.go.jp

- I T 導入補助金2023後期事務局のお問い合わせ先

電話【ナビダイヤル】**0570-666-376**

【I P 電話等からのお問合せ先】050-3133-3272

【ポータルサイト】 <https://it-shien.smrj.go.jp/>

【よくある質問】 <https://it-shien.smrj.go.jp/faq/>

- 公募要領（令和5年10月2日更新）

【通常枠（A・B類型）】

https://it-shien.smrj.go.jp/pdf/r4_koubo_tsujyo.pdf

【デジタル化基盤導入枠】

https://it-shien.smrj.go.jp/pdf/r4_koubo_digital.pdf

【セキュリティ対策推進枠】

https://it-shien.smrj.go.jp/pdf/r4_koubo_security.pdf

4. 参考・お問合せ先

- その他支援施策として、生産性向上に取り組む中小・小規模事業者等をサポートする中小企業庁・中小企業基盤整備機構の**デジタル化支援施策**をご紹介します。

① 中小企業119/中小企業庁 (中小企業・小規模事業者向け)

- 支援機関が専門家を派遣して課題解決をサポートする専門家派遣制度。
- 「ITを活用して、販路拡大を実現したい」「IT導入補助金を活用し、ITツールの導入に繋がりたい」等のお悩みに対して、専門家に支援を依頼することができる。
<https://chusho119.go.jp/>

② よろず支援拠点/中小企業基盤整備機構

(中小企業・小規模事業者向け)

- 売上拡大や経営改善等の経営課題の解決に向けて、一歩踏み込んだ専門的な提案。
- 課題解決に向けて相談内容に応じた適切な支援機関の紹介や課題に対応した支援機関をコーディネート。
- 何度でも無料でご相談することができること、経営上のどのようなお悩みにも対応可能。
<https://yorozu.smrj.go.jp/>

③ 企業の健康診断ツール (ローカルベンチマーク) /経済産業省

(企業向け、支援機関等向け)

- 企業の経営状態の把握、いわゆる「企業の健康診断」を行うツール。
- 企業の経営者と金融機関・支援機関等がコミュニケーションしながら、ローカルベンチマーク・シートなどを使用し、企業経営の現状や課題を相互に理解することで、個別企業の経営改善や地域活性化を目指す。
https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/

④ みらデジ/中小企業庁 (企業向け・支援機関向け)

- 自社のデジタル化を中心として経営状態を可視化。
- 支援機関への相談に繋げるポータルサイト。
<https://www.miradigi.go.jp/>

⑤ IT戦略ナビ/中小企業基盤整備機構

(中小企業・小規模事業者向け)

- Web上で質問に回答していくと、「どのようにITを活用しビジネスを成功させるか」というストーリーをまとめた「IT戦略マップ・導入プラン」が作成され、自社の課題等が見える化できる。
- 課題解決に役立つ「ITソリューションツール」も確認できる。
<https://it-map.smrj.go.jp/>

⑥ ここからアプリ/中小企業基盤整備機構

(企業向け、支援機関向け)

- 「使いやすい」、「導入しやすい」と思われる業務用アプリを紹介。
- アプリ掲載に加え、実際のITツールを導入した事業者の事例や、支援機関が活用できる。IT支援力アップミニ講座なども配信。
<https://ittools.smrj.go.jp/>

⑦ E-SODAN/中小企業基盤整備機構 (企業向け、支援機関向け)

- 経営に関するお悩みに対し、専門家が監修する回答集のなかから、AIによる回答や関連する情報等を提示。
- 専門家と直接チャットで経営に関する相談もできる。
<https://bizsapo.smrj.go.jp/>

⑧ IT経営簡易診断/中小企業基盤整備機構

(中小企業・小規模事業者向け)

- 専門家との3回の面談を通して経営・業務課題を全体最適の視点から整理・見える化し、IT活用可能性を無料で提案。
- 顧客対応・営業支援業務、総務・会計・人事、労務、在庫、物流等の間接業務に課題があり、改善を検討したい中小企業
<https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/diagnosis/index.html>

4. 参考・お問合せ先

- これからの対策にも活用できる情報処理推進機構（IPA）のセキュリティ支援施策をご紹介します。

① SECURITY ACTION/

（企業向け、IT導入補助金活用者向け）

- ・ 情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度。
- ・ 自己宣言はIT導入補助金やものづくり補助金デジタル枠の申請要件。

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>

② 中小企業の情報セキュリティ対策

ガイドライン/（中小企業・小規模事業者向け）

- ・ 経営者が知っておくべき事項、自らの責任で考えなければならない事項について説明。
- ・ 情報セキュリティ対策を実践する方むけに、対策の進め方をステップアップ方式で具体的に説明。

<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/guideline/>

③ 情報セキュリティ診断/

（中小企業・小規模事業者向け）

- ・ 自社の情報セキュリティ対策状況を診断できるシステム。
- ・ 情報セキュリティ対策ベンチマーク及びサイバーセキュリティ経営可視化ツール診断は、設問に答えるだけで、自社のセキュリティレベルを他社との比較で診断。

<https://security-shien.ipa.go.jp/diagnosis/>

④ サイバーセキュリティお助け隊サービス/

（中小企業・小規模事業者向け・IT導入補助金活用者向け）

- ・ 中小企業のサイバーセキュリティ対策に不可欠な各種サービスをワンパッケージで安価に提供するサービス
- ・ サイバーインシデントが原因による事業継続の困難を回避。
- ・ サイバー攻撃被害が生産性向上を阻害するリスクを低減。

<https://www.it-hojo.jp/security/>

⑤ 情報セキュリティ教材_スライド形式/

（一般・中小企業・小規模事業者向け）

- ・ 情報セキュリティに関する説明をスライドに記載、ノート部分に啓発時のセリフや参考情報が記載。
- ・ 1教材あたり3スライドで説明内容をまとめ、短時間の啓発が可能。
- ・ 一般向けの講演会、パソコン教室、学校の授業、家庭での教育等、啓発者の用途に応じた様々な場面で利用可能

https://www.ipa.go.jp/security/net-anzen/security_materials.html

⑥ 映像で知る情報セキュリティ/

（一般向け、中小企業・小規模事業者向け）

- ・ 情報セキュリティに関する脅威や対策などを学んで頂くための映像コンテンツを、YouTube内の「IPA Channel」で公開。

<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/>

⑦ 情報セキュリティ安心相談窓口/

（一般・企業向け、電話：03-5978-7509、メール：anshin@ipa.go.jp）

- ・ 一般的な情報セキュリティ（ウイルスや不正アクセス）に関する技術的な相談に対してアドバイスを提供する窓口。
- ・ 被害に遭った際だけでなく普段のパソコン操作にも役立つ資料をご紹介します。

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/>

⑧ セキュリティ・ミニキャンプ/

（学生・一般向け）

- ・ 学生に対して情報セキュリティに関する高度な技術教育を実施、次代を担う情報セキュリティ人材を発掘・育成する事業で開催地を募集。
- ・ 若い情報セキュリティ人材の早期発掘と育成を目的とした「専門講座」と、一般の方を対象とした「一般講座」。

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/index.html>

ご静聴ありがとうございました。

**四国経済産業局
製造産業・情報政策課**

0 8 7 – 8 1 1 – 8 5 1 8

<https://www.shikoku.meti.go.jp/>